

筑波大学特別支援教育連携推進グループ

令和7年度現職教員研修 実践実習の様子①

(専門性向上研修・1年)

今年度、現職教員研修を受けられている宮木沙絵先生（北海道帯広聾学校）は、5月12日より、附属聴覚特別支援学校幼稚部にて実践実習を行っています。

開始当初は、様々な学年の子どもと遊んで信頼関係を深めたり、各学級の授業の様子を観察したりしながら過ごされていました。子どもたちは宮木先生のことが大好きで、一緒に遊んだり話をしたりすることを楽しみにしています。

6月からは、5歳児の学級に毎日続けて入り、時に宮木先生自身も授業をしながら、観察と実践に励まれています。研修テーマである「聴覚障害幼児同士のやりとりを育む指導者の関わり方」について探究を深めるため、学級担任とともに、日々の授業についての振り返りを行っています。父の日のプレゼントの製作や、七夕の笹飾りの製作も、宮木先生が担当しました。

7月中旬には、宮木先生の研究授業が行われる予定です。およそ2ヶ月にわたる実践実習の成果が発揮されることが楽しみです。



5歳児学級で子どもと遊ぶ様子



七夕の笹飾りについて話をする様子

実践演習の様子